

2017年(平成29年)度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日

2018 年 5 月 24 日

公益財団法人日米医学医療交流財団

2017年(平成29年)度事業報告書

目 次

I. 2017年度 事業報告	-----	1
II. 2017年度 事業詳細	-----	3
公益目的事業	-----	3
団体助成	-----	3
個人助成	-----	5
JANAMEF セミナー・シンポジウム	-----	8
茨城県指導医団国外派遣事業支援業務	-----	10
第7回日米医学医療交流財団賛助会員交流会	-----	11
第1回 JANAMEF フェロー意見交換・懇親会	-----	12
III. 2017年度 理事会・評議員会議事	-----	13
IV. 組 織	-----	16
顧問・評議員・役員名簿	-----	16
委員名簿、事務局	-----	17
V. 事業報告の附属明細書	-----	19

I. 2017年度事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

2017 年度事業は、2017 年 3 月 16 日(木)開催の 2016 年度第 4 回定時理事会において承認された事業計画及び収支予算に基づいて実行し、その概要は以下のとおりである。

事業区分として、公益目的事業会計及び法人会計の 2 区分があり、本報告書はそれらの区分に基づいて作成している。

公益目的事業

○評議員会・理事会・委員会・セミナー等

1. 4 月 2017 年度第 1 回賛助会費及び寄附金の依頼
2. 4 月 22 日(土) 2017 年度 JANAMEF 留学助成(A 項・B 項)の選考委員会(東京)
2017 年度環太平洋アジアファンド留学助成の選考委員会(東京)
A 項助成者:5 名、B 項助成者 4 名、環太平洋アジアファンドは応募者なし
3. 5 月 25 日(木) 第 1 回定時理事会
4. 6 月 15 日(木) 第 1 回定時評議員会、第 1 回臨時理事会
5. 7 月 2017 年度第 2 回賛助会費及び寄附金の依頼
6. 7 月 2 日(日) 第 2 回定時理事会、第 1 回臨時評議員会
7. 7 月 25 日(火) 第 1 回企画開発委員会
8. 9 月 12 日(火) 第 2 回選考委員会
9. 9 月 21 日(木) 第 2 回企画開発委員会
10. 10 月 18 日(水) 第 1 回学術委員会
11. 10 月 20 日(金) JANAMEF NEWS Vol. 48 発行
12. 10 月 21 日(土) 第 18 回医学留学セミナー(東京医科大学と共催)
13. 11 月 2017 年度第 3 回賛助会費及び寄附金の依頼
14. 11 月 7 日(火) 第 3 回企画開発委員会
15. 11 月 13 日(月)～22 日(水) 茨城県指導医団国外派遣事業(米国・ハワイ州ホノルル)
16. 11 月 20 日(日) 第 3 回定時理事会、第 3 回評議員会
17. 12 月 13 日(火) 第 1 回企画開発委員会
18. 1 月 25 日(木) 第 2 回学術委員会

19. 1月30日(火) 第4企画開発委員会
20. 2月 2017年度第4回賛助会費及び寄附金の依頼
21. 3月16日(金) JANAMEF NEWS Vol. 49 発行
22. 3月17日(土) 第4回定時理事会、第4回評議員会
第7回賛助会員交流会
23. 3月24日(土) 第1回 JANAMEF フェロー意見交換・懇親会
24. 3月29日(木)～31日(土) 2018年アジア太平洋肥満代謝外科学会総会
25. 3月31日(金) 2018年度 JANAMEF 留学助成(A項・B項)の応募締切
2018年度環太平洋アジアファンド留学助成の応募締切

○団体助成

1. 4月29日(土)～30日(日) 第2回東京国際内視鏡ライブ
2. 5月27日(土)～28日(日) 第11回 ITヘルスケア学会学術大会
3. 6月16日(金)～17日(土) 第2回がん緩和ケアに関する札幌国際会議
4. 6月23日(金)～24日(土) 第35回日本肥満症治療学会学術集会
5. 7月15日(土)～16日(日) 第17回呼吸療法セミナーin湘南 2017
6. 10月12日(木)～14日(土) 第62回日本新生児成育医学会学術集会
7. 10月14日(土)～15日(日) 第30回日本サイコオンコロジー学会総会
8. 10月19日(木)～21日(土) 第38回日本アフェレシス学会学術大会
9. 11月25日(土)～26日(日) 第7回日本在宅看護学会
10. 12月2日(土) AGING Japan 認知症研究会
11. 3月29日(木)～31日(土) 2018年アジア太平洋肥満代謝外科学会総会

○個人助成

1. 4月22日(土) 2017年度 JANAMEF 留学助成(A項・B項)の選考(5名) ----- (米国他)
2. 8月14日(月)～19日(土) 医学部夏期集中医学英語研修の助成(15名) ----- (米国)
3. 10月2日(月) 2017年度 JANAMEF 留学助成(B項)の選考(4名) ----- (米国他)
4. 10月8日(日)～14日(土) 第14回アメリカ短期看護研修の助成(10名) ----- (米国)

Ⅱ. 2017年度事業詳細

2017年度事業計画に基づき、公益目的事業として5件の団体助成、4件の個人助成、1件のセミナー、茨城県指導医団国外派遣事業支援業務を実施したので詳細を以下に報告する。

公益目的事業

団体助成

1. 第2回東京国際内視鏡ライブ(東京ライブ)

会期:2017年4月29日(土)~30日(日)

主催:東京国際内視鏡ライブ

代表世話人長:井上 晴洋(昭和大学江東豊洲病院 消化器センター長)

会場:昭和大学江東豊洲病院 9階講堂

2. 第11回 ITヘルスケア学会学術大会

会期:2017年5月27日(土)~28日(日)

主催:一般社団法人ITヘルスケア学会

大会長:佐藤 智太郎(国立病院機構名古屋医療センター 医療情報管理部長)

会場:国立病院機構名古屋医療センター 附属看護助産学校

3. 第2回がん緩和ケアに関する札幌国際会議

会期:2017年6月16日(金)~17日(土)

主催:がん緩和ケアに関する札幌国際会議

大会長:大西 秀樹(埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科 教授)

会場:札幌パークホテル

4. 第35回日本肥満症治療学会学術集会

会期:2017年6月23日(金)~24日(土)

主催:日本肥満症治療学会

大会長:佐々木 章(岩手医科大学医学部外科学講座 教授)

会場:アイーナ(いわて県民情報交流センター)

5. 第17回呼吸療法セミナーin湘南2017

会期:2017年7月15日(土)~16日(日)

主催:日本医工学治療学会呼吸器分科会

大会長:渡部 和巨(東京西徳洲会病院 院長)

会場:湘南藤沢徳洲会病院

6. 第 62 回日本新生児成育医学会学術集会
会期:2017 年 10 月 12 日(木)～14 日(土)
主催:日本新生児成育医学会
大会長:側島 久典(埼玉医科大学総合医療センター小児科 教授)
会場:大宮ソニックシティ

7. 第 30 回日本サイコオンコロジー学会総会
会期:2017 年 10 月 14 日(土)～15 日(日)
主催:日本サイコオンコロジー学会
大会長:大西 秀樹(埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科 教授)
会場:きゅりあん(品川区立総合区民会館)

8. 第 38 回日本アフェレシス学会学術大会
会期:2017 年 10 月 19 日(木)～21 日(土)
主催:日本アフェレシス学会
大会長:池田 志孝(順天堂大学医学部皮膚科 教授)
会場:東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ

9. 第 7 回日本在宅看護学会
会期:2017 年 11 月 25 日(土)～26 日(日)
主催:日本在宅看護学会
大会長:佐藤 悦子(山梨県立大学看護学部看護学科 教授)
会場:山梨県立大学池田キャンパス

10. AGING Japan 認知症研究会
会期:2017 年 12 月 2 日(土)
主催:AGING Japan
代表世話人:阿久津 靖子(日本次世代型先進高齢社会研究機構)
会場:TKP 渋谷カンファレンスセンター

11. 2018 年アジア太平洋肥満代謝外科学会総会
会期:2018 年 3 月 29 日(木)～31 日(土)
主催:アジア太平洋肥満代謝外科学会
大会長:笠間 和典(四谷メディカルキューブ 減量・糖尿病外科センター)
会場:東京ガーデンテラス紀尾井町

個人助成

助成者名簿

1. JANAMEF 留学(A項) 助成者

No.	氏名	1)現職 2)出身大学(卒業年)	1)希望分野 2)予定施設・研修身分・指導者 3)予定期間	推薦者
1	福永 直人	1)神戸市立医療センター 中央市民病院 心臓血管外科/副医長 2)徳島大学医学部 (2007年卒)	1)心臓血管外科 2)Peter Munk Cardiac Centre, Toronto General Hospital Research Fellow Vivek Rao, M.D., Ph.D. 3)出発予定 2017年4月12日 研修開始 2017年5月1日 帰国予定 2019年4月30日、2年	1)恒吉 裕史 倉敷中央病院 心臓血管外科部長 2)坂田 隆造 神戸市立医療センター 中央市民病院 病院長
2	野村 理	1)東京都立小児総合医療センター 救命救急科 小児救急医学・医学教育/医員 2)弘前大学医学部 (2007年卒) 弘前大学大学院 総合医学教育学在学中 (2018年修了予定)	1)医学教育学 2)McGill University 医学教育学修士課程 大学院生 Professor, Linda Snell 3)出発予定 2017年8月1日 研修開始 2017年9月1日 帰国予定 2019年8月31日、2年	1)井上 信明 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 医師 2)大西 弘高 東京大学医学系研究科 医学教育国際研究センター 講師
3	釋尾 知春	1)小倉記念病院 麻酔科・集中治療部 医員 2)昭和大学医学部 (2010年卒) 昭和大学大学院 生理学生体調節機能分野 (2016年修了)	1)麻酔科学 2)Shriners Hospital for Children, Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School Research Fellow Shingo Yasuhara, MD&PhD 3)出発予定 2017年7月22日 研修開始 2017年8月1日 帰国予定 2019年7月27日、2年	1)大嶽 浩司 昭和大学 教授 2)小坂 誠 昭和大学横浜市北部病院 教授
4	海法 悠	1)東北大学病院 麻酔科 大学院生 2)山形大学医学部 (2006年卒) 東北大学大学院 公衆衛生学分野 (2017年修了)	1)医学、麻酔科学、集中治療医学、救急医学 2)Children's Hospital of Philadelphia, PA, USA Simulation Research Fellow Vinay Nadkarni, MD, Endowed Chair, Pediatric Critical Care Medicine 3)出発予定 2017年12月31日 研修開始 2018年1月1日 帰国予定 2020年1月1日、2年	1)山内 正憲 東北大学大学院 医学系研究科 麻酔科学・周術期医学分野 教授 2)辻 一郎 東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学分野 教授
5	堀内 優	1)社会福祉法人 三井記念病院 循環器内科 2)新潟大学医学部 (2009年卒)	1)循環器領域の臨床研究 2)University of California, San Diego Visiting Scholar Professor Alan Smith Maisel 3)出発予定 2017年5月22日 研修開始 2017年6月1日 帰国予定 2019年5月31日、2年	1)高本 真一 (社福)三井記念病院 院長 2)田邊 健吾 (社福)三井記念病院 循環器内科部長

2. JANAMEF 留学(B 項)助成者

No.	氏名	1)現職 2)出身大学(卒業年)	1)調査・研究項目 2)予定施設・研修身分・指導者 3)予定期間	推薦者
1	高橋 しづこ	1)日本赤十字社医療センター 2)東海大学医学部 (2002年卒) 東京大学大学院医学系研究科 (2010年修了)	1)着床前診断や出生前診断における 倫理的意思決定の文化的な背景の比較検討 2)Yale School of Medicine Yale-Hastings Visiting Scholar Lori Bruce, Director, Sherwin B. Nuland Summer Institute in Bioethics, Interdisciplinary Center for Bioethics, Yale University Chair, etc. 3)出発予定 2017年5月30日 帰国予定 2017年8月28日、3ヶ月	1)坂部 貢 東海大学医学部 医学部長 2)赤林 朗 東京大学大学院 医学系研究科 医療倫理学教室 教授
2	小澤 悠里	1)国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 新生児科 フェロー 2)川崎医科大学 (2009年卒)	1)周産期医療現場における シミュレーショントレーニングの実際と評価方法 2)Children's Hospital of Philadelphia Simulation Research Fellow Akira Nishisaki, MD, MSCE 3)出発予定 2017年8月15日 帰国予定 2018年8月、11ヶ月	1)伊藤 裕司 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 新生児科 医長 2)Benjamin W Berg MD Professor of Medicine John A. Burns School of Medicine, University of Hawaii
3	森田 紗枝	1)ポストコンサルティング グループ シニアアソシエイト (9月4日退職) 2)名古屋大学医学部 (2012年卒)	1)Health Policy, Financing and Planing 2)London School of Hygiene and Tropical Medicine Master course student 3)出発予定 2017年9月25日 帰国予定 2018年9月16日、11ヶ月	1)西崎 彰 Children's Hospital of Philadelphia Associate Medical Director 2)粕谷 英樹 名古屋大学医学部 国際医学教育学 教授
4	伊藤 研悠	1)名古屋大学医学部附属病院 整形外科 医員 2)名古屋大学医学部 (2004年卒) 名古屋大学大学院 (2014年修了)	1)腰痛と腰椎バランス、サルコペニアの関係 2)Children's Hospital of Philadelphia Simulation Research Fellow Akira Nishisaki, MD, MSCE 3)出発予定 2018年4月1日 帰国予定 2019年3月25日、11ヶ月	1)伴 信太郎 愛知医科大学 医学教育センター センター長・特命教授 2)今釜 史郎 名古屋大学医学部附属病院 整形外科 講師

3. 医学部夏期集中医学英語研修

応募者：21名

合格者：15名(書類審査による選考)

期 間：2017年8月14日(月)～19日(土)(6日間)

主催及び研修場所：Hawaii Tokai International College(HTIC)

協 力：神戸大学医学部、東海大学医学部

助成者名簿

No.	氏名	所属先	No.	氏名	所属先
1	長嶋 愛	愛知医科大学(5年)	9	尾崎 有里子	東京女子医科大学(5年)
2	中島 文	愛知医科大学(5年)	10	多田 ちひろ	東京女子医科大学(5年)
3	三嶋 拓也	岐阜大学(5年)	11	南淵 美玲	鳥取大学(6年)
4	平田 千尋	京都府立医科大学(6年)	12	鈴木 裕紀子	富山大学(5年)
5	細川 由梨子	京都府立医科大学(6年)	13	建部 壮	奈良県立医科大学(5年)
6	大谷 理了	群馬大学(6年)	14	鬼木 玲奈	防衛医科大学校(5年)
7	中島 紗樹	慶応義塾大学(5年)	15	東方 謙介	和歌山県立医科大学(5年)
8	山田 麻綾	東京慈恵会医科大学(5年)			

4. アメリカ短期看護研修

応募者：12名

合格者：10名(書類審査による選考)

期 間：2017年10月8日(日)～14日(土)(7日間)

受入機関：ポートランド州立大学(PSU)

企画・実施：株式会社トラベルパートナーズ

助成者名簿

No.	氏名	所属先	No.	氏名	所属先
1	井出 ともみ	信州大学医学部付属病院	6	樽本 むいな	札幌マタニティウイメンズホスピタル
2	望月 恵	静岡市立清水病院	7	大山 薫	名古屋徳洲会総合病院
3	金床 菜々子	都内大学病院	8	大村 真葵子	聖隷浜松病院
4	濱田 有希	平針記念クリニック	9	大和田 真紀	獨協医科大学病院
5	藤本 裕実	北播磨総合医療センター	10	徳泉 沙耶	久保田産婦人科病院

第 18 回 医学留学セミナー 海外で通用する医師になろう！

日時：2017 年 10 月 21 日(土)12:30～18:00 主催：公益財団法人日米医学医療交流財団
場所：東京医科大学病院 6階 臨床講堂 共催：東京医科大学
後援：文部科学省、厚生労働省、

(公社)日本医師会、(公社)日本看護協会、(公社)日本薬剤師会
コーディネーター：

泉 美貴(東京医科大学 医学部医学科 医学教育学分野 教授)

小池 薫(JANAMEF 理事/京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学 教授)

2017 年 10 月 21 日(土)、医学留学セミナー《海外で通用する医師になろう！》が東京医科大学病院で開催され、登壇者 9 名、受講生 202 名(医学生 107 名、研修医 6 名、医師 16 名、高校生 27 名、その他 46 名)合わせて 211 名が参加しました。グローバル化した 21 世紀に生きる医学生・若手医師にとって、世界を股に掛けて医療をすることはもはや当たり前生き方になることでしょう。そこで、これから留学を考えている医学生・若手医師が、留学のチャンスをつかみ、夢を実現できるように、本セミナーでは、第一部として、ハンガリーの医学校(英語コース)を卒業した若い医師に、海外において医学を英語で学ぶという貴重な経験について、第二部では、現在欧米の一流病院において活躍されているお二方の日本人医師から、海外で働くことの意義や現状などについて、お話をいただきました。

まず、(株)シェーンコーポレーション カプラン御茶ノ水センター メディカル・カウンセラー 平間健治先生による「USMLE 対策の秘訣」では、USMLE の基礎から最新情報まで、具体的に分かりやすくお話いただきました。次の(公財)宮城厚生協会 坂総合病院 後期研修医 佐藤英之先生による「海外の医学部(セグド大学、ハンガリー)を卒業して」では、入学者 150 人のうち 50 人しか卒業できなかった厳しい環境の中で、多国籍の同級生たちと共に文化の違いを乗り越えて、6 年間でどのようにすごしたかを話していただきました。そして最後の「ハンガリー医学部サバイバル戦略ー いかにして卒業にこぎつけたかー」では、筑波記念病院 後期研修医 沼田り子先生から、数学や物理が苦手なために、日本の医学部受験をあきらめたこと、しかしどうしても医師になりたくて、苦手な英語を克服しつつ一生懸命勉強して見事卒業できた経緯を、詳細に振り返っていただきました。質疑応答では医学部生、高校生から熱気のもった質問が飛び出し、予定された 20 分はまたたく間に過ぎ去りました。

休憩をはさんで、<第2部 世界で活躍する医師からの提言>のセッションに移り、司会は東京医科大学医学部医学科 社会医学部門 医学教育学分野 泉美貴教授と、財団理事/京都大学大学院初期診療・救急医学分野 小池薫教授が務めました。ヨハネス・ゲーテンベルク大学医療センター 麻酔科 上級医代理 福井公子先生の「ドイツで麻酔科専門医として働く」では、日本で麻酔科医としてのキャリアを始め、アメリカ、スイスを経て、現在のドイツでポジションを得るまでの経緯はどのようなものであったか、日本を離れて世界に飛び出して活躍することは決して手の届かない夢物語ではないことを、分かりやすくお話いただきました。また、ケースウェスタンリザーブ大学 家庭医学科 森川雅浩教授の「米国で通用する家庭医になるということ」では、留学するに至った経緯やアメリカで築いてきた環境がどのようなものであったか、自分が努力することは当然ながらも、人との出会いや平素からの心掛けがいかにか大切にされるかを懇切丁寧に指導していただきました。参加者は第 2 部の講演中に事前に配布された質問用紙に質問事項を記載するという方式を取り入れましたが、質問内容は多岐にわたり、1 時間の質疑応答は熱気に満ちたものとなりました。

最後に、東京医科大学 鈴木衛学長と日米医学医療交流財団 宇田左近専務理事による閉会の辞があり、セミナーは盛会のうちに終了しました。

— プログラム —

12:30~12:40	開会の辞	東京医科大学 理事長 公益財団法人 日米医学医療交流財団 会長	臼井 正彦 黒川 清
12:40~14:30	第1部 海外の医学部に挑戦しよう！		
	【司会】	東京医科大学医学部医学科 医学教育学分野 准教授 財団理事／東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室 教授	R. ブルーヘルマンズ 野村 実
12:40~13:10	●USMLE 対策の秘訣		
	【講師】	(株)シェーンコーポレーション カプラン御茶ノ水センター メディカル・カウンセラー	平間 健治
13:10~13:40	●海外の医学部（セグド大学、ハンガリー）を卒業して		
	【講師】	(公財)宮城厚生協会 坂総合病院 後期研修医	佐藤 英之
13:40~14:10	●ハンガリー医学部サバイバル戦略 — いかにして卒業にこぎつけたか —		
	【講師】	筑波記念病院 後期研修医	沼田るり子
14:10~14:30	●質疑応答		
— 休憩（15分） —			
14:45~17:50	第2部 世界で活躍する医師からの提言		
	【司会】	東京医科大学医学部医学科 社会医学部門 医学教育学分野 教授 財団理事／京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学分野 教授	泉 美貴 小池 薫
14:45~15:45	●ドイツで麻酔科専門医として働く		
	【講師】	ヨハネス・ゲーテンベルク大学医療センター 麻酔科 上級医代理	福井 公子
15:45~16:45	●米国で通用する家庭医になるということ		
	【講師】	ケースウエスタンリザーブ大学 家庭医学科 教授	森川 雅浩
16:45~17:50	●医学生との座談会		
17:50~18:00	閉会の辞	東京医科大学 学長 公益財団法人 日米医学医療交流財団 理事長	鈴木 衛 清水 一功
18:15~20:00	懇親会	東京医科大学病院 6階 カフェテリア	

茨城県指導医団国外派遣事業支援業務実施報告

財団では、医学医療の国際交流を支援してきたこれまでの実績をもとに、地方公共団体に対する支援業務として、4回目の茨城県指導医団国外派遣事業支援業務を実施しました。本事業は、茨城県内の指導医の更なる指導能力の向上を図るため、意欲ある指導医団を米国(ハワイ)に派遣し、当地の医療現場や医療施設などで、先進的な指導・教育方法を学ぶものです。財団では、派遣プログラムの作成からその実施まで一貫した業務を支援しました。その概要を以下のとおり報告します。

研修期間：2017年11月13日(月)～22日(水)(10日間)

研修地：米国ハワイ州ホノルル市

主催：茨城県保健福祉部医療対策課医師確保対策室

企画・実施支援：公益財団法人日米医学医療交流財団

支援業務の概要

●事業の目的

県内の指導医の更なる指導能力の向上を図るため、意欲ある指導医団を結成し、世界標準の先進的な指導・教育に取り組んでいる米国(ハワイ)に派遣することで、スキルの向上と県内研修体制の強化を推進し、「若手医師教育研修立県」としてのイメージの向上及び医師の県内定着を目的とする。

●受託業務の内容

- ① 指導医団国外派遣プログラムの作成
- ② 出発前の準備(オリエンテーションを含む)
- ③ 派遣先でのプログラムの実施
- ④ 必要物品並びに手続きの手配及び支払い

●支援期間

2017年5月2日～2018年1月31日

●主な研修内容

- ① 外来・救急等でのレジデントへの指導方法
- ② ベッドサイドにおけるレジデントへの指導方法
- ③ カンファレンスにおける指導方法
- ④ 医師のプロフェッショナリズム(マナー・接遇・倫理)

プログラムの主な内容

●聖ルカ・クリニック研修 ●ワイキキ緊急医療クリニック研修

●クイーンズメディカルセンター

レジデント教育システム,モーニング&エデュケーショナルカンファレンス,モーニングレポート,レジデント病棟回診,グラウンドラウンドレクチャー

●カピオラニコミュニティーカレッジ(KCC)

Ho'okipa Me Ke Aloha Workshop, Health Science Programs Tour, Gerontology, Community Health, Kokua Kalihi Valley Visit

●ハワイ大学・ジョン A.バーンズ医学, SimTiki シミュレーションセンター:シミュレーション教育

●ハワイ大学・ジョン A.バーンズ医学部訪問(井筒副学長・町教授レクチャー&視察)

●レジデント(JANAMEF Fellow)訪問&日・ハワイ医療交流 ●在ホノルル日本国総領事館訪問

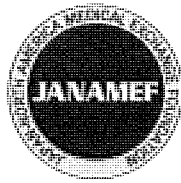


第7回 日米医学医療交流財団賛助会員交流会

[2018年3月17日(土) 於:学士会館]

式次第

17:30	受付開始		
18:00~18:15	挨拶	進行	宇田 左近 専務理事
	開会挨拶		黒川 清 会長
	来賓挨拶	財務省主計局長 文部科学省高等教育局長 厚生労働省医政局長	岡本 薫明 様 義本 博司 様 武田 俊彦 様
18:15~18:55	特別講演 「日本版ホスピタリスト育成に向けて」 新潟大学地域医療教育センター 教授(総合診療科) 魚沼基幹病院 総合診療科部長		石山 貴章 先生
18:55~19:15	Q&A		
19:15	乾杯		高本 眞一 理事
19:20~20:30	歓談		
20:30	閉会のことば		清水 一功 理事長



第1回 JANAMEF フェロー意見交換・懇親会プログラム

[2018年3月24日(土) 於:リビエラ青山 ザ・ローズ]

式次第

17:30	受付開始		
18:00~18:15	挨拶	進行	宇田 左近 専務理事
	開会挨拶		黒川 清 会長
18:15~18:25	「日本版ホスピタリスト育成に向けて」 板橋中央総合病院 副院長／総合診療科主任部長 加藤 良太朗 先生		
18:25~19:05	意見交換		
19:10	乾杯		
19:10~20:30	会食、ひきつづき意見交換		
20:30	閉会挨拶		清水 一功 理事長

Ⅲ. 2017年度理事会・評議員会議事

第1回 定時理事会

日時:2017年5月25日(木) 17:30~18:50

場所:財団事務所会議室

審議事項

1. 平成28年度事業報告及び附属明細書について
2. 平成28年度決算計算書類及び附属明細書について
3. その他の財産から基本財産への繰り入れについて
4. 理事の改選について

報告事項

1. 平成29年度事業実施状況について
2. 次回評議員会・理事会について

定時評議員会

日時:2017年6月15日(木) 16:14~17:15

場所:財団事務所会議室

審議事項

1. 平成28年度事業報告について
2. 平成28年度決算計算書類について
3. 理事の改選について

報告事項

1. 平成29年度事業実施状況について

第1回 臨時理事会

日時:2017年6月15日(木) 17:30~18:10

場所:財団事務所会議室

審議事項

1. 役付理事の選定について
2. 顧問の選任について
3. 各委員会の委員の選出について
4. 次回評議員会について

報告事項

1. 平成29年度医学部夏期集中医学英語研修助成の応募・選考状況について
2. 第9回医学医療交流看護セミナーの開催について
3. 事務局長の進退について

第2回 定時理事会

日時:2017年7月2日(日) 17:00~18:30

場所:ホテルニューオータニ「シリウスの間」

審議事項

1. 各委員会の所管事項及び各委員会の開催日程について
2. 給与規程の一部改正について
3. 今後の財団運営について

報告事項

1. 鍋谷欣一顧問退任に伴う感謝状贈呈について
2. 事務局長退任について

第2回 評議員会

日時:2017年7月2日(日) 18:00~19:00

場所:ホテルニューオータニ「シリウスの間」

審議事項

1. 各委員会の所管事項及び各委員会の開催日程について
2. 給与規程の一部改正について
3. 今後の財団運営について

報告事項

1. 第1回臨時理事会における役付理事選定について
2. 鍋谷欣一顧問退任に伴う感謝状贈呈について
3. 事務局長退任について

第3回 評議員会

日時:2017年11月20日(月) 17:00~18:00

場所:ホテルオークラ東京「メイフェア」

審議事項

1. 日本版総合診療医・ホスピタリスト助成に向けて
2. 基本財産取り崩しについて

報告事項

1. 医学部夏期集中医学英語研修プログラムについて
2. アメリカ短期看護研修について
3. 医学留学セミナーについて

第3回 定時理事会

日時:2017年11月20日(月) 19:00~19:45

場所:ホテルオークラ東京「メイフェア」

審議事項

1. 日本版総合診療医・ホスピタリスト助成に向けて
2. 基本財産取り崩しについて

報告事項

1. 医学部夏期集中医学英語研修プログラムについて
2. アメリカ短期看護研修について
3. 医学留学セミナーについて

第4回 定時理事会

日時:2018年3月17日(土) 16:00~17:15

場所:学士会館 302号室

審議事項

1. 平成30年事業計画案の承認
2. 平成30年収支予算案の承認
3. 顧問の選任(再任)について
4. 委員会規則の一部改正について
5. 次回定時評議員会開催日程について

報告事項

1. 資産運用状況について
2. 賛助会費納入状況について
3. 茨城県指導医団派遣事業について
4. 財団設立30周年記念事業について
5. 過去10年間のJANAMEFフェローの動向について

第4回 評議員会

日時:2018年3月17日(土) 17:15~17:35

場所:学士会館 302号室

報告事項

1. 平成30年事業計画案について
2. 平成30年収支予算案について
3. 顧問の選任(再任)について
4. 委員会規則の一部改正について
5. 次回定時評議員会開催日程について
6. 資産運用状況について
7. 賛助会費納入状況について
8. 茨城県指導医団派遣事業について
9. 財団設立30周年記念事業について
10. 過去10年間のJANAMEFフェローの動向について

IV. 組織

1. 顧問・評議員・役員名簿（顧問5名、評議員8名、理事12名、監事2名）

役 職	氏 名	職 業（所 属・役 職）
顧 問	小玉 正智	滋賀医科大学 名誉教授
	高久 史磨	公益社団法人地域医療振興協会 会長
	伴 信太郎	愛知医科大学 特命教授 医学教育センター長
	牧野 治郎	一般社団法人日本損害保険協会 副会長
	横倉 義武	公益社団法人日本医師会 会長

*50音順

評 議 員	井上 大輔	日本医科大学千葉北総病院 緩和ケア科 教授、旭川大学 客員教授
	大瀧 守彦	株式会社パソナ 副会長
	栗原 敏	学校法人慈恵大学 理事長
	小林 恵一	ハワイ 聖ルカ・クリニック 院長、神戸大学医学部 臨床教授
	呉屋 朝幸	杏林大学 名誉教授、善仁会小山記念病院 顧問
	立川 幸治	大阪紙業株式会社 代表取締役社長
	鳥羽 董	百農社国際有限公司(香港) 特別顧問
	新浪 剛史	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役社長

*50音順

会 長	黒川 清	日本医療政策機構 代表理事
理 事 長	清水 一功	社会福祉法人ロングライフ小諸 理事長 医療法人社団御代田中央記念病院 理事長
専務理事	宇田 左近	ビジネス・ブレークスルー大学 副学長
理 事	遠藤 直哉	弁護士法人フェアネス法律事務所 代表弁護士
	小池 薫	京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学分野 教授
	小山 勇	埼玉医科大学国際医療センター 病院長
	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長
	高本 眞一	東京大学 名誉教授
	野村 実	東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室 教授
	福井 トシ子	公益社団法人日本看護協会 会長
	山本 信夫	公益社団法人日本薬剤師会 会長

*50音順

監 事	伊藤 信彦	浦和税理士法人 代表社員
	高倉 公朋	公益財団法人日米脳神経財団 理事長 東京脳神経センター 所長

*50音順

2. 委員名簿

(1) 学術委員名簿(16名)

役 職	氏 名	職 業 (所 属 ・ 役 職)
委員 長	高本 眞一	東京大学 名誉教授
委 員	芦田 ルリ	東京慈恵会医科大学 教授 国際交流センター長
	池田 俊也	国際医療福祉大学医学部 副医学部長、公衆衛生学 教授、 大学院医学研究科 公衆衛生学専攻主任
	井上 大輔	日本医科大学千葉北総病院 緩和ケア科 教授、旭川大学 客員教授
	上本 伸二	京都大学 肝胆膵・移植外科 教授
	宇田 左近	ビジネス・ブレークスルー大学 副学長
	天谷 雅行	慶應義塾大学 医学部長
	久保 恵嗣	地方独立行政法人長野県立病院機構 理事長
	高田 和生	東京医科歯科大学 副理事・統合教育機構 教授
	田中 雄二郎	東京医科歯科大学 理事・副学長
	錦見 尚道	名古屋第一赤十字病院 副院長
	橋本 正良	埼玉医科大学 総合診療内科学 教授
	福井 トシ子	公益社団法人日本看護協会 会長
	古川 俊治	参議院議員、慶應義塾大学法科大学院教授・医学部外科教授、 TMI 総合法律事務所 弁護士
	宮崎 隆	昭和大学 副学長・国際交流センター長
	山本 信夫	公益社団法人日本薬剤師会 会長

*50 音順

(2) 選考委員名簿(10名)

役 職	氏 名	職 業 (所 属 ・ 役 職)
委員 長	小池 薫	京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学分野 教授
委 員	青木 眞	感染症コンサルタント
	赤津 晴子	国際医療福祉大学医学部 教授、医学教育統括センター長、 成田キャンパス国際交流センター長
	上塚 芳郎	東京女子医科大学附属成人医学センター所長・特任教授
	小林 恵一	ハワイ 聖ルカ・クリニック 院長、神戸大学医学部 臨床教授
	阪井 裕一	埼玉医科大学総合医療センター 小児科 教授
	D.サターホワイト	前フルブライト・ジャパン 事務局長
	中島 康雄	ミッドタウンクリニック東京ベイ 特別顧問 聖マリアンナ医科大学 名誉教授
	橋本 正良	埼玉医科大学 総合診療内科学 教授
	松村 理司	洛和会ヘルスケアシステム 総長

*50 音順

(3)企画開発委員名簿(7名)

役 職	氏 名	職 業 (所 属 ・ 役 職)
委 員 長	野村 実	東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室 教授
委 員	宇田 左近	ビジネス・ブレイクスルー大学 副学長
	遠藤 直哉	弁護士法人フェアネス法律事務所 代表弁護士
	小池 薫	京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学分野 教授
	小山 勇	埼玉医科大学国際医療センター 病院長
	呉屋 朝幸	杏林大学 名誉教授、善仁会小山記念病院 顧問
	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長

*50音順

3. 事務局

現在事務局は、常勤職員2名と非常勤職員2名で対応している。

V. 事業報告の附属明細書

平成 29 年度事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

2017年(平成29年)度 決算報告書

平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日

2018 年 5 月 24 日

公益財団法人日米医学医療交流財団

2017年度 決算報告書

貸借対照表
平成30年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	21,479,873	42,585,946	-21,106,073
流動資産合計	21,479,873	42,585,946	-21,106,073
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
有価証券	443,351,000	436,120,000	7,231,000
基本財産合計	443,351,000	436,120,000	7,231,000
(2) 特定資産			
環太平洋アジアファンド	49,424,000	50,268,000	-844,000
特定資産合計	49,424,000	50,268,000	-844,000
(3) その他固定資産			
保証金	1,002,858	1,002,858	0
一括償却資産	81,288	0	81,288
その他の固定資産合計	1,084,146	1,002,858	81,288
固定資産合計	493,859,146	487,390,858	6,468,288
資産合計	515,339,019	529,976,804	-14,637,785
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,183,153	153,000	2,030,153
前受金	940,000	240,000	700,000
学会寄附前受金	110,000	5,285,000	-5,175,000
預り金	269,537	207,650	61,887
国庫預り金	0	1,767,272	-1,767,272
流動負債合計	3,502,690	7,652,922	-4,150,232
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,502,690	7,652,922	-4,150,232
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	49,424,000	50,268,000	-844,000
(うち特定資産への充当額)	(49,424,000)	(50,268,000)	844,000
2. 一般正味財産	472,772,153	472,055,882	716,271
(うち基本財産への充当額)	(443,351,000)	(436,120,000)	-7,231,000
正味財産合計	511,836,329	522,323,882	-10,487,553
負債及び正味財産合計	515,339,019	529,976,804	-14,637,785

正味財産増減計算書
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	参考当年度収支予算
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	7,831,000	6,787,046	1,043,954	7,831,000
基本財産受取利息	7,831,000	6,787,046	1,043,954	7,831,000
特定資産運用益	682,000	445,630	236,370	682,000
特定資産受取利息	682,000	445,630	236,370	682,000
受取会費	11,190,000	11,310,000	-120,000	15,000,000
賛助会員受取会費	11,190,000	11,310,000	-120,000	15,000,000
事業収益	1,290,000	5,297,000	-4,007,000	5,695,000
セミナー収益	460,000	4,797,000	-4,337,000	4,895,000
フェロ一事業収益	830,000	500,000	330,000	800,000
受取補助金等	500,000	1,000,000	-500,000	1,000,000
受取民間助成金	500,000	1,000,000	-500,000	1,000,000
受取寄附金	32,955,399	4,734,498	28,220,901	25,000,000
受取寄附金	4,319,399	3,294,498	1,024,901	15,500,000
受取学会寄附金	26,636,000	2,440,000	24,196,000	6,000,000
受取寄附金振替額	2,000,000	0	2,000,000	3,500,000
受託収入	4,464,761	8,065,113	-3,600,352	4,778,000
海外派遣支援業務受託収入	4,464,761	4,107,605	357,156	4,778,000
調査研究業務受託収入	0	3,957,508	-3,957,508	0
雑収益	641,915	198,280	443,635	302,000
受取利息	513	713	-200	2,000
資料頒布収益	471,000	37,000	434,000	100,000
雑収益	170,402	160,567	9,835	200,000
経常収益計	59,555,075	37,837,567	21,717,508	60,288,000
(2) 経常費用			0	
事業費	53,266,089	39,676,901	13,589,188	42,432,000
個人助成費	7,700,000	6,350,000	1,350,000	9,000,000
団体助成費	23,972,400	2,196,000	21,776,400	5,400,000
セミナー費	1,087,480	3,042,656	-1,955,176	3,144,000
委員会費	166,068	468,925	-302,857	469,000
給与手当	9,758,510	12,445,625	-2,687,115	10,829,000
法定福利費	1,428,943	1,739,068	-310,125	1,577,000
資料印刷費	572,164	2,281,246	-1,709,082	1,873,000
資料購入費	0	14,364	-14,364	8,000
通信運搬費	658,180	634,611	23,569	576,000
旅費交通費	1,408,268	3,420,410	-2,012,142	2,047,000
租税公課	2,000	4,200	-2,200	322,000
賃借料	791,659	881,058	-89,399	907,000
支払手数料	127,864	138,304	-10,440	93,000
消耗品費	2,875	3,494	-619	5,000
地代家賃	1,885,308	1,885,308	0	1,886,000
水道光熱費	264,229	265,518	-1,289	262,000
諸謝金	2,404,753	3,277,812	-873,059	3,119,000
業務委託費	3,828	3,407	421	4,000
損害保険料	30,030	40,040	-10,010	61,000
フェロ一事業費	956,936	480,601	476,335	800,000
PT会議費	0	13,226	-13,226	0
雑費	44,594	91,028	-46,434	50,000
管理費	23,163,539	18,662,426	4,501,113	17,794,000
役員報酬	70,000	70,000	0	70,000
給与手当	8,689,511	10,865,626	-2,176,115	10,189,000
法定福利費	1,428,943	1,739,069	-310,126	1,577,000
会議費	1,922,261	62,442	1,859,819	52,000
資料印刷費	445,701	655,225	-209,524	611,000
通信運搬費	221,704	176,838	44,866	176,000
旅費交通費	1,096,064	1,080,034	16,030	1,115,000
租税公課	229,080	800	228,280	1,000
賃借料	791,660	881,058	-89,398	907,000
支払手数料	79,272	78,624	648	77,000
消耗品費	385,566	525,846	-140,280	520,000
地代家賃	1,885,308	1,885,308	0	1,886,000
水道光熱費	264,229	265,518	-1,289	262,000
諸謝金	65,340	37,356	27,984	38,000
業務委託費	5,244,266	133,007	5,111,259	134,000
損害保険料	73,500	73,500	0	74,000
減価償却費	40,644	0	40,644	0
雑費	230,490	132,175	98,315	105,000
経常費用計	76,429,628	58,339,327	18,090,301	60,226,000
評価損益調整前経常増減額	-16,874,553	-20,501,760	3,627,207	62,000
投資有価証券評価損益等	7,231,000	64,830,000	-57,599,000	0
評価損益	7,231,000	64,830,000	-57,599,000	0
当期経常増減額	-9,643,553	44,328,240	-53,971,793	62,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
前期補助金調整額	0	101,412	-101,412	
経常外費用計	0	101,412	-101,412	
当期経常外増減額	0	-101,412	101,412	
当期一般正味財産増減額	-9,643,553	44,226,828	-53,870,381	62,000
一般正味財産期首残高	472,055,882	427,829,054	44,226,828	466,482,170
一般正味財産期末残高	462,412,329	472,055,882	-9,643,553	466,544,170
II 指定正味財産増減の部			0	
特定資産評価益	1,156,000	268,000	888,000	
一般正味財産への振替額	-2,000,000		-2,000,000	-3,500,000
当期指定正味財産増減額	-844,000	268,000	-1,112,000	-3,500,000
指定正味財産期首残高	50,268,000	50,000,000	268,000	50,000,000
指定正味財産期末残高	49,424,000	50,268,000	-844,000	46,500,000
III 正味財産期末残高	511,836,329	522,323,882	-10,487,553	513,044,170

正味財産増減内訳書

平成29年4月1日 から 平成30年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,915,500	3,915,500		7,831,000
基本財産受取利息	3,915,500	3,915,500		7,831,000
特定資産運用益	682,000	0		682,000
特定資産受取利息	682,000	0		682,000
受取会費	5,595,000	5,595,000		11,190,000
賛助会員受取会費	5,595,000	5,595,000		11,190,000
事業収益	1,290,000	0		1,290,000
セミナー収益	460,000	0		460,000
フェロ一事業収益	830,000	0		830,000
受取補助金等	500,000	0		500,000
受取民間助成金	500,000	0		500,000
受取寄付金	31,145,699	1,809,700		32,955,399
受取寄付金	2,509,699	1,809,700		4,319,399
受取学会寄付金	26,636,000	0		26,636,000
受取寄附金振替額	2,000,000	0		2,000,000
受取補助金等	4,464,761	0		4,464,761
海外派遣支援業務受託収入	4,464,761	0		4,464,761
調査研究業務受託収入	0	0		0
雑収益	641,673	242		641,915
受取利息	271	242		513
雑収益	170,402	0		170,402
資料頒布収益	471,000	0		471,000
経常収益計	48,234,633	11,320,442		59,555,075
(2) 経常費用				
事業費	53,266,089	0		53,266,089
個人助成費	7,700,000	0		7,700,000
団体助成費	23,972,400	0		23,972,400
セミナー費	1,087,480	0		1,087,480
委員会費	166,068	0		166,068
給与手当	9,758,510	0		9,758,510
法定福利費	1,428,943	0		1,428,943
資料印刷費	572,164	0		572,164
通信運搬費	658,180	0		658,180
旅費交通費	1,408,268	0		1,408,268
租税公課	2,000	0		2,000
賃借料	791,659	0		791,659
支払手数料	127,864	0		127,864
消耗品費	2,875	0		2,875
地代家賃	1,885,308	0		1,885,308
水道光熱費	264,229	0		264,229
諸謝金	2,404,753	0		2,404,753
業務委託費	3,828	0		3,828
損害保険料	30,030	0		30,030
調査研究費	0	0		0
フェロ一事業費	956,936	0		956,936
PT会議費	0	0		0
資料購入費	0	0		0
雑費	44,594	0		44,594
管理費	0	23,163,539		23,163,539
役員報酬	0	70,000		70,000
給与手当	0	8,689,511		8,689,511
法定福利費	0	1,428,943		1,428,943
会議費	0	1,922,261		1,922,261
資料印刷費	0	445,701		445,701
通信運搬費	0	221,704		221,704
旅費交通費	0	1,096,064		1,096,064
租税公課	0	229,080		229,080
賃借料	0	791,660		791,660
支払手数料	0	79,272		79,272
消耗品費	0	385,566		385,566
地代家賃	0	1,885,308		1,885,308
水道光熱費	0	264,229		264,229
諸謝金	0	65,340		65,340
業務委託費	0	5,244,266		5,244,266
保険料	0	73,500		73,500
減価償却費	0	40,644		40,644
雑費	0	230,490		230,490
経常費用計	53,266,089	23,163,539		76,429,628
評価損益調整前経常増減額	-5,031,456	-11,843,097		-16,874,553
投資有価証券評価損益等	3,615,500	3,615,500		7,231,000
評価損益等計	3,615,500	3,615,500		7,231,000
当期経常増減額	-1,415,956	-8,227,597		-9,643,553
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				0
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				0
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	-1,415,956	-8,227,597		-9,643,553
一般正味財産期首残高	224,610,673	247,445,209		472,055,882
一般正味財産期末残高	223,194,717	239,217,612		462,412,329
II 指定正味財産増減の部				0
特定資産評価益	1,156,000	0		1,156,000
一般正味財産への振替額	-2,000,000	0		-2,000,000
当期指定正味財産増減額	-844,000	0		-844,000
指定正味財産期首残高	50,268,000	0		50,268,000
指定正味財産期末残高	49,424,000	0		49,424,000
III 正味財産期末残高	272,618,717	239,217,612		511,836,329

附属明細書

1 重要な会計方針

重要な会計方針は、次のとおりである

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日内閣府公益認定等委員会)を採用している。

1) 有価証券評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの：期末日の始業価格等に基づく時価法によっている。

時価のないもの：移動平均法による原価法によっている。

2) 固定資産の減価償却の方法：定額法によって償却している。

3) リース取引の処理方法

①所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

なお、リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下のリース取引については、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

②リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引

引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用している。

4) 消費税等の会計処理

税込方法によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	436,120,000	12,908,000	5,677,000	443,351,000
小計	436,120,000	12,908,000	5,677,000	443,351,000
特定資産				
環太平洋アジアファンド	50,268,000	1,424,000	2,268,000	49,424,000
小計	50,268,000	1,424,000	2,268,000	49,424,000
合計	486,388,000	14,332,000	7,945,000	492,775,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
有価証券	443,351,000	0	(443,351,000)	0
小計	443,351,000	0	(443,351,000)	0
特定資産				
環太平洋アジアファンド	49,424,000	(49,424,000)	0	0
小計	49,424,000	(49,424,000)	0	0
合計	492,775,000	(49,424,000)	(443,351,000)	0

4 固定資産(一括償却資産)の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

	取得価額	減価償却費	当期末残高
パソコン	121,932	40,644	81,288

5 その他有価証券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

その他有価証券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位:円)

	種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産	ドイツ 外国債 #7933	50,000,000	49,805,000	△ 195,000
	ドイツ 外国債 #8055	100,000,000	104,160,000	4,160,000
	43 ソフトバンクグループ	20,443,000	20,050,000	△ 393,000
	5 ソシエテG劣後FR	160,000,000	165,696,000	5,696,000
	52 ソフトバンクグループ	100,000,000	103,640,000	3,640,000
	小計	430,443,000	443,351,000	12,908,000
特定資産	5 ソシエテG劣後FR	40,000,000	41,424,000	1,424,000
	合計	470,443,000	484,775,000	14,332,000

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	当期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
国際交流助成 小規模研究会 助成	公益財団法人テ ルモ科学技術振 興財団	0	500,000	500,000	0
合計		0	500,000	500,000	0

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	2,000,000

注記

- 1 基本財産及び特定資産の明細
基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する附属明細書に記載のとおりである。
- 2 引当金の明細
該当なし。

財産目録

平成30年3月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金及び預金	現金手持有高	運転資金	34,205
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	12,708,601
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	12,000
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	509,665
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	722,155
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	229,399
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	21,586
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	76,148
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	296,015
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	76
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	762,038
	普通預金 みずほ銀行 四谷支店	同 上	1,324,929
	普通預金 三菱UFJ銀行 本郷支店	同 上	8,177
	普通預金 三井住友銀行 麴町支店	同 上	34,273
	普通預金 三井住友銀行 麴町支店	同 上	4,329
	普通預金 三井住友銀行 麴町支店	同 上	129,608
	郵便振替口	同 上	3,788,483
	郵便通常貯金	同 上	83,292
	定期預金 三井住友銀行 麴町支店	同 上	734,894
現金及び預金計			21,479,873
流動資産合計			21,479,873
(固定資産)			
基本財産		公益目的保有財産50% 運用益を管理目的の 財源として使用する財産50%	
有価証券	ダイワ 外国債 #7933	同 上	49,805,000
	ダイワ 外国債 #8055	同 上	104,160,000
	5 ソシエテG 劣後FR	同 上	165,696,000
	43 ソフトバンクグループ	同 上	20,050,000
	52 ソフトバンクグループ	同 上	103,640,000
基本財産計			443,351,000
特定資産			
環太平洋アジアファンド	5 ソシエテG 劣後FR	環太平洋アジアの派遣・研究助成事業の財産	41,424,000
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	8,000,000
特定資産計			49,424,000
その他固定資産			
敷金	本郷デントビル事務所敷金	事務所賃貸に際しての敷金	1,002,858
一括償却資産	パソコン		81,288
その他固定資産計			1,084,146
固定資産合計			493,859,146
資産合計			515,339,019
(流動負債)			
未払金	第7回日本在宅看護学会学術集会		54,000
	アジア太平洋肥満代謝外科学会		900,000
	業務委託費		293,370
	資料印刷費		327,240
	社会保険料		382,143
	確定消費税		226,400
前受金	2018年度賛助会費		940,000
学会寄附前受金	第3回東京国際内視鏡ライブ		100,000
	第12回ITヘルスケア学会		10,000
預り社会保険	従業員負担社会保険料		44,790
預り金	源泉税		224,747
流動負債合計			3,502,690
負債合計			3,502,690
正味財産			511,836,329

監査報告書

公益財団法人日米医学医療交流財団
会長 黒川 清 殿

平成 30 年 5 月 15 日

公益財団法人日米医学医療交流財団

監事

高倉 公朋



監事

伊藤 信幸



私ども監事は、法令及び定款に基づき、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上